

私のふくい探訪

未来へつなぐ
福井の魅力

初めて福井を訪れたのは1968年の福井国体のときのこと。私は神奈川県高校選抜バスケットボールチームの一員でした。当時はホームステイ(民泊)も多く、私たちは西本願寺福井別院に宿泊し、食事は地元の婦人会の方にお世話になりました。心のこもったおもてなしで優勝したからということもありますが、最良の思い出です。

福井には大丸の社長になってから毎年数回は訪れています。業界は違いますが福井の企業が自社のコア技術をいかして新たな変革を生み出し企業革新につ

なげたことに私は強く共感していて、社長になつてから親しくさせていただく機会があり、その縁で頻繁に来るようになったのです。

通うと福井の良さが改めて実感されます。美味しい食べ物、生活のしやすさ、繊維や眼鏡、漆器など伝統産業の力、技術力、優秀で勤勉な気質等々。またそれらをひけらかすこともありません。

一方で、最近の消費動向をみると、二極化が進む中で、長く

使える良いもの、今までになかったもの、こだわりのあるものがよく売れています。「本物」×「革新」がカギです。私は、今こそ福井の良さをアピールする時だと思っています。そのために「つなぐ」ということが大切だと考えています。

百貨店は商品をアピールする場を持っています。それ自体が一つのメディアだといえます。百貨店と福井の産業がつながること、今度は福井の魅力

を消費者お客様につなぐことができません。それは次の発展にもつながっているのではないのでしょうか。百貨店にとつても、この繰り返しですが魅力を高めることになるのです。

弊社の例で恐縮ですが、木材を加工したスマホケースや雑貨、メガネの材料や技術を使つたアクセサリーなどはお客様に大変好評で、福井の企業とコラボレーションしたパラソルや洋品雑貨も人気の企画として続けています。

是非、百貨店の場を利用していただきたいと思っています。

3年後には私が福井と出会ったうきつけとなった福井国体が50年ふりに開催されます。私も楽しみにしています。福井通いもまだまだ続きそうです。



J.フロントテイリング株式会社
代表取締役社長

やまもと りょういち
山本 良一

1951年神奈川県生まれ。1973年明治大学卒業後、㈱大丸に入社。同社の営業改革を牽引。2003年同社社長。松坂屋との経営統合により発足したJ.フロントテイリング㈱の取締役、㈱大丸松坂屋百貨店社長を経て、2013年より現職。

エネルギーとこと

資源が乏しい日本では、原子力を基幹電源として、火力等と合わせたエネルギーの多元化が重要です。LNGは環境負荷も小さく、地元産業の発展にもつながるエネルギーとして、活用を推進することが必要です。

福井県経済団体連合会 会長 **川田 建男**

福井県環境・エネルギー懇話会
〒918-8004 福井市西木田 2-8-1
福井商工会議所ビル 6F

▶バックナンバーはコチラから

福井県環境・エネルギー懇話会 検索

次回掲載は

中村 尚史氏 8月10日(月)掲載予定

※掲載日は前後する場合がございます。
ご了承ください。